

令和 7 年度 社交金 第 2 号－ 2

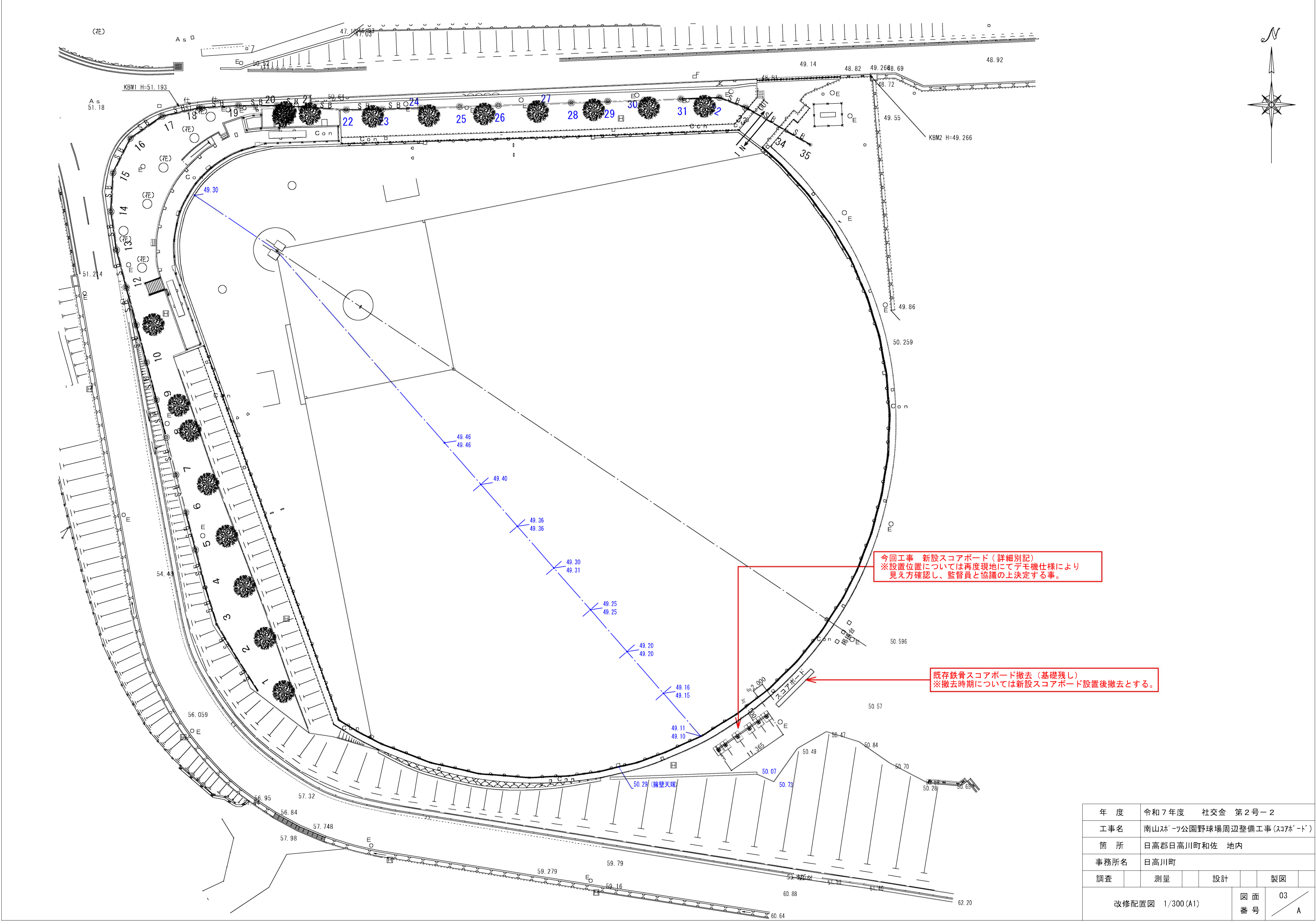
南山スポーツ公園野球場周辺整備工事（スコアボード）

設計図

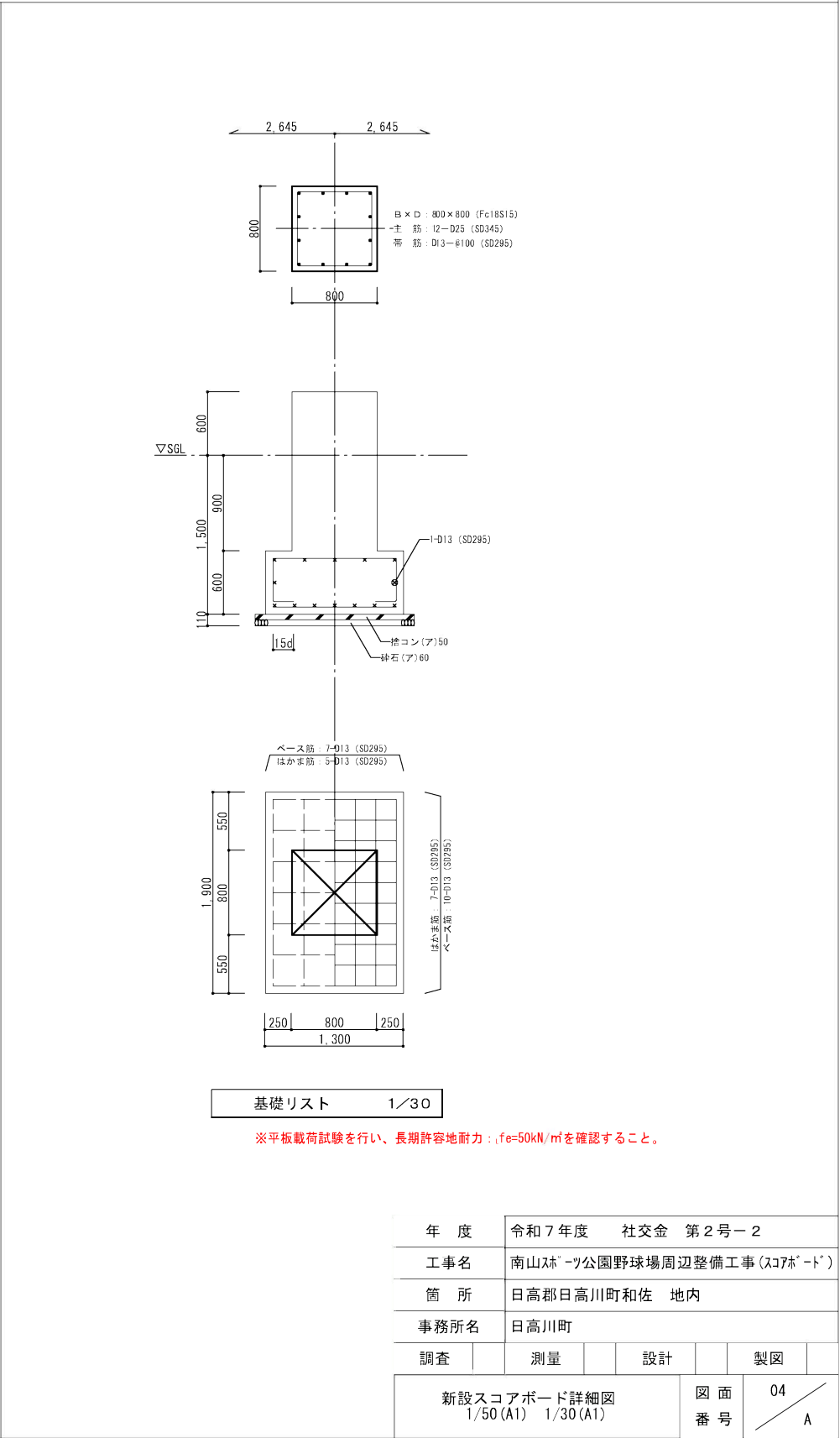
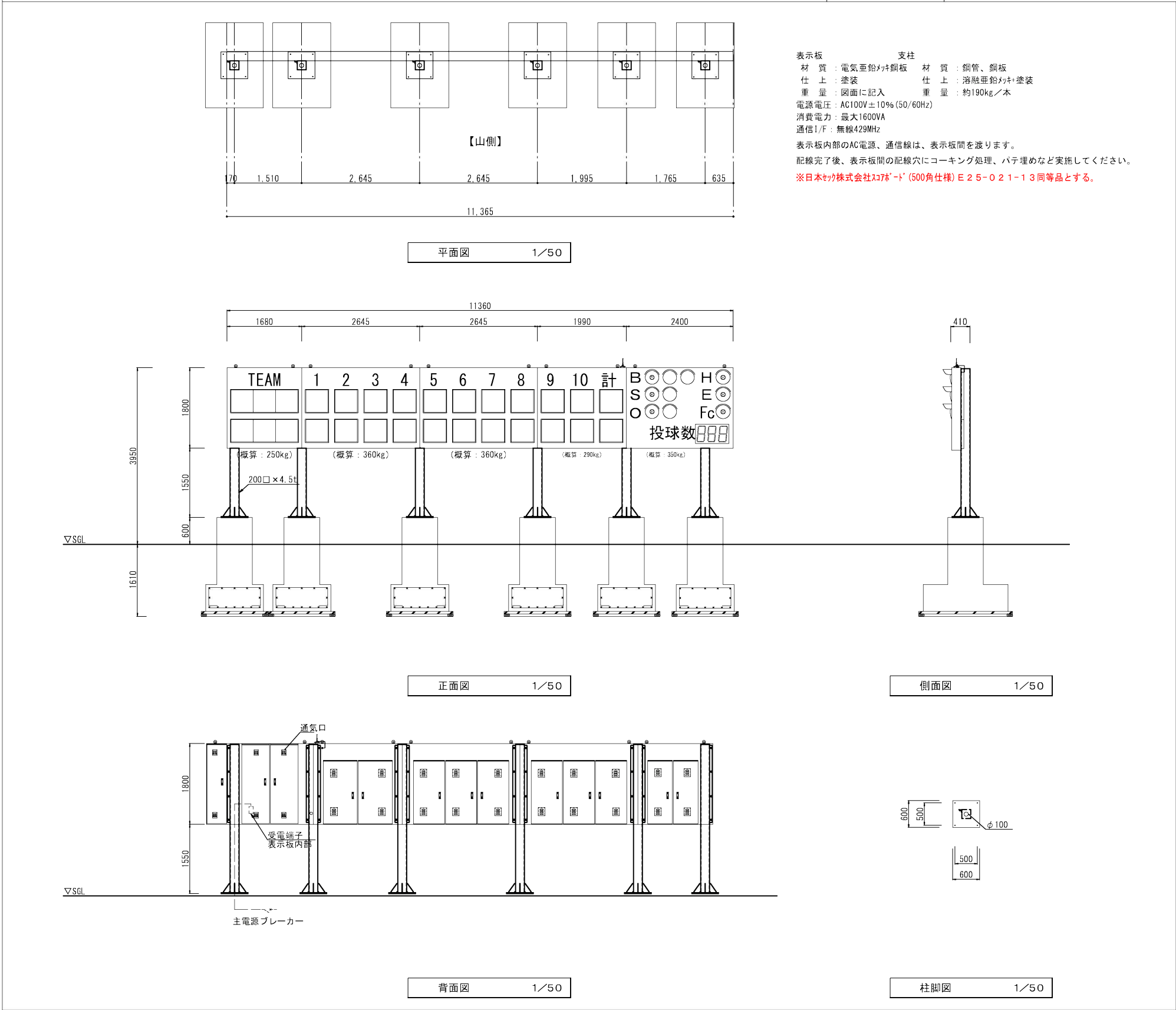
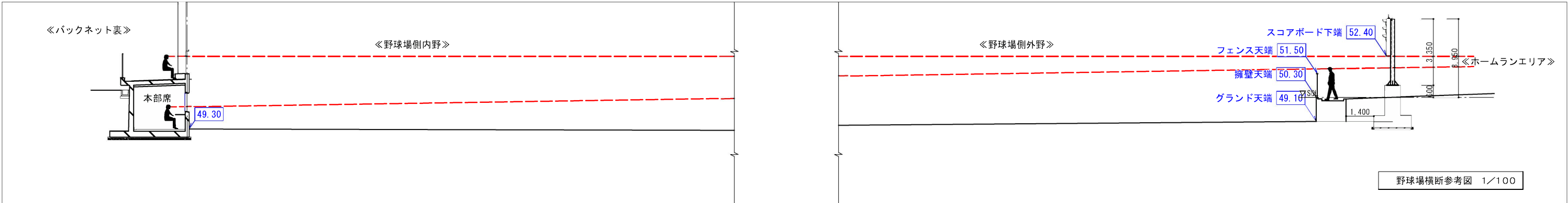
年 度	令和 7 年度 社交金 第 2 号－ 2				
工事名	南山スポーツ公園野球場周辺整備工事（スコアボード）				
箇 所	日高郡日高川町和佐 地内				
事務所名	日高川町				
調査	測量		設計		製図
表紙				図 面 番 号	

[illegible]

⑥	コンクリート工事	4節 レディーミクストコンクリート工場の選定、コンクリートの製造及び運搬	1 レディーミクストコンクリート工場の選定、コンクリートの製造及び運搬 (6.4.1) (6.4.2) (6.4.3) (6.4.4)	⑦	鉄骨工事	4節 レディーミクストコンクリート工場の選定、コンクリートの製造及び運搬	1 受注者は、レディーミクストコンクリートを用いる場合には、JISマーク表示認定工場または、JISマーク表示認証工場（改定産業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき面に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技士等）が常駐しており、全国生コンクリート品質管理協会または全国地一品質管理協会（以下「協会」という。）に加盟していること、全国生コンクリート品質管理協会または全国地一品質管理協会に加盟していること、協会に加盟している工場から選定し、JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）に適合するものを用いるものとする。（注）レディーミクストコンクリートを使用する場合を除く。） 2 受注者は、上記によるない場合には、その理由を明記した「レディーミクストコンクリートに関する該選定書」を提出し、監督官の承認を得なければならない。また、公共建築工事標準仕様書等における品質管理基準に示されるコンクリートの施工に関する試験項目を2項にするものとする。 (輸入し主事における品質管理基準 http://www.prof.nakayama-lg.jp/lrefrg/081100/bid/teimyu/index.html 参照) 3 受注者は、協会に加盟した工場からレディーミクストコンクリートを使用する場合であっても、加水行為により、品質管理が適切に行われなかったことが判明した場合、以降の該選定については、品質管理を適切に実施されていることが確認されるまでの間、当該工場からは、行わないものとする。 4 レディーミクストコンクリートの加水は、コンクリートの性能を著しく悪化させるため、行ってはならない。（コンクリート標準示方書（施工編）より一部要約） 5 また、加水の意図が無い場合でも、製造工場から工事現場到着までの間に、アジテータ車のホッパー部分（車両後部上方にある、コンクリートの投入口）に付着したコンクリートを水洗いする行為は、洗浄水がドラム内に混れ込むため、加水行為と同様であり行ってはならない。やむを得ず洗浄する必要がある場合は、水を管理するエアープッシュ等を行うこと。 6 シート等の製造に使用した洗浄水を受け入れないこと。アジテータ車のシート部分等（積載のために設けられた場所以外）に垂り下げたまま運搬を止めることは、汚濁防止法（第56条）に抵触するため行ってはならない。 7 洗い袋に入った洗浄水をアジテータ車のドラム内に戻す行為は、高汚染水となり（高き2メートル未満の距離を除く）、労働安全衛生規則（第518条）に抵触するため行ってはならない。 ついで、洗浄水の処理は、現場にピット（池）やペレセル（貯留槽）等を設置した上で適正に処理を行うが、作業坑（定場等）を設け、洗い袋に入った洗浄水をドラム内に戻すものとする。 ただし、やむを得ずこれらが設置出来ない場合でも、安全等を適切に使用し、洗浄水をドラム内に戻す場合は除く。 また、ドラム内に戻した洗浄水は、レディーミクストコンクリートと混ぜることがないよう、製造工場等から排出し、適正に処理を行うこと。 8 アジテータ車に載せるコンクリートは、重量ごとに定められた、積載重量の制限を超えることがないよう、十分注意すること。	1 鉄骨製作工場（7.1.3） 2 鉄骨製作工場における施工管理技術者（7.1.4） 3 鋼材（7.2.1） 4 高力ボルト（7.2.2） 5 普通ボルト（7.2.3） 6 アンカーボルト（7.2.4） 7 溶接材料（7.2.5） 8 ターンバックスル（7.2.6） 9 床橋用のデッキプレート（7.2.7） 10 スタッド（7.2.8） 11 柱底均しモルタル（7.2.9） 12 材料試験等（7.2.10） 13 工作図（7.3.2） 14 ボルト孔（7.3.8） 15 仮組（7.3.10） 16 摩擦面の性能及び処理（7.4.2） 17 補付け（7.4.7） 18 溶接作業を行う技能検査者（7.6.3） 19 溶接の準備（7.6.4） 20 溶接施工（7.6.7） 21 溶接部の試験（7.6.12） 22 デッキプレートの溶接（7.7.8） 23 塗装の範囲（7.8.2） 24 塗料種類（7.8.4） 25 耐火被覆の種類等（7.9.2） 26 耐火被覆の性能、品質等（7.9.3） 27 アンカーボルトの検査等（7.10.3） 28 施工（7.11.2） 29 溶接部締めつき高力ボルト検査（7.12.5）	※スコープボードメーカー指定材料とする。（参考：日本セック株式会社） 1節 共通事項 鉄骨製作工場の加工能力等 ※適用する（建築基準法による性能評価の大臣認定グレード同等以上） ・S ・H ・M ・R ・J 鉄骨製作工場における施工管理技術者の配置 ・配置する ・配置しない 2節 材料 鋼材の種類、形状及び寸法 ※表示による 高力ボルトの種類 ・トルシヤ高力ボルト ・JIS高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト ・その他（ ） ねじの呼び ※表示による ボルト及びナットの材料等 ※表示による ねじの呼び ※表示による 構造用アンカーボルトの種類 ※表示による 建築用アンカーボルトの種類 ※表示による 建築用アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス ※表示による 溶接棒仕様7.2.5（1）（2）以外の溶接材料 ※表示による ターンバックスルの種類、ねじの呼び等 ※表示による デッキプレートの材質、形状及び寸法 ※表示による スタッドの種類等 ※表示による 柱底均しモルタルを無収縮モルタルとする場合の材料、割合等 ※表示による 風圧方向に引張力を受ける鋼材の試験 ・行う ・行わない 3節 工作一般 高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの種類試験、ボルト間隔、ゲージ等 ※表示による 母屋又は副屋の取付けに使用する普通ボルトの孔徑 ※ねじの呼び径＋1.0mm ・その他（ ） 仮組 ・行う ・行わない 4節 高力ボルト検査 すり試験を実施する場合の試験の方法等 ※表示による JIS高力ボルトの本機付けでナット回転法を用いる時、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量 ※表示による 5節 溶接検査 溶接作業を行う技術者資格者に対して、技能付加試験を行う場合 ※表示による 鋼材の形状 ※表示による 鋼製エンドタブを切断する箇所及び切断範囲 ※表示による 鋼製エンドタブの切断面の仕上げ ※表示による 低応力高サイクル疲労を受けける部位 ※表示による スカラープの形状 ※表示による 溶接部の外観試験の試験方法等 ※表示による 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※行う ・行わない A O Q L（平均出品品質限界） ・2.5% ・4.0% 検査水準 ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 7節 スタッド溶接及びデッキプレートの溶接 デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法 ※表示による 8節 鋼止め塗装 耐火被覆材の接合する箇の塗装範囲 ※表示による 耐火被覆材の接合する箇以外の塗装範囲 ※表示による 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリプで鋼骨に溶接されたものの内面の鋼止め塗料の種類 ※A種 ・B種 耐火被覆材が接合する箇に塗装する場合の鋼止め塗料の種類 ・A種 ・B種 9節 耐火被覆 耐火被覆の種類、材料、工法等 ※表示による 耐火被覆の耐火性能 ※表示による 10節 工事現場施工 建築用アンカーボルトの保持及び埋込み方法 ・A種 ・B種 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状及び寸法 ※表示による 柱底均しモルタルの厚さ ※表示による 柱底均しモルタルの工法の種類 ※A種 ・B種 11節 経量検査 ボルトの検査方法 ※表示による 12節 溶融亜鉛めっき工法 摩擦面の処理方法等 ・ブラスト処理 ・りん酸塩処理 ・その他（ ）	2節 鋼製コンクリートブロック造 ブロックの種類、モジュール呼び寸法及び正味厚さ ※表示による モルタルの割合 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 目地仕上げの工法 ・押し目地仕上げ ・他圧目地仕上げ 充填するブロックの断面 ※表示による 3節 コンクリートブロック敷設及び研 ブロックの種類、モジュール呼び寸法及び正味厚さ ※表示による 仮の場合に化粧有りのブロックの適用 ※表示による 4節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 5節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 6節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 7節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 8節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 9節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 10節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 11節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 12節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 13節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 14節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 15節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 16節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 17節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 18節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 19節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 20節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 21節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 22節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 23節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 24節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 25節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 26節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 27節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 28節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 29節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 30節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 31節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 32節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 33節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 34節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 35節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 36節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 37節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 38節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 39節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 40節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 41節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 42節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 43節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 44節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 45節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 46節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 47節 耐火被覆の継手、定着及び束縛部の折り返し形状 ※表示による 骨部の配筋 ※表示による 48節 耐火
---	----------	--------------------------------------	---	---	------	--------------------------------------	--	---	---	--



年 度	令和7年度 社交金 第2号-2				
工事名	南山スポーツ公園野球場周辺整備工事（スコアボード）				
箇 所	日高郡日高川町和佐 地内				
事務所名	日高川町				
調査	測量	設計		製図	
改修配置図 1/300 (A1)				図 面 番 号	03 A





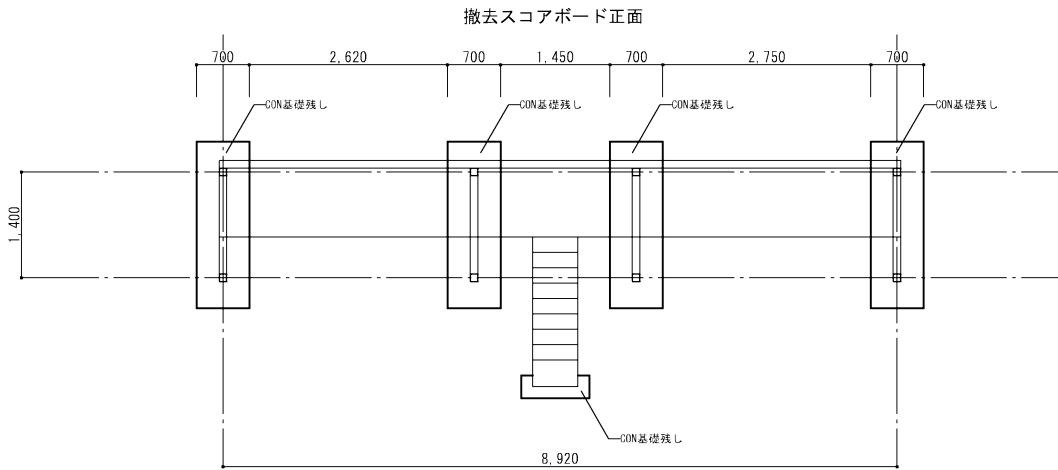
撤去スコアボード正面



撤去スコアボード側面



撤去スコアボード裏面



撤去スコアボード
材 質 : 鉄骨
鉄骨柱 : 100角 控柱75角 斜材50角
手摺 : 鉄製φ34H900 手摺子φ25φ200
階段 : 鋼板踏面W100、9段

撤去平面図 1/50

年 度	令和7年度	社交金	第2号-2		
工事名	南山ｽﾎｰﾂ公園野球場周辺整備工事(ｽｺｱﾎｰﾄﾞ)				
箇 所	日高郡日高川町和佐 地内				
事務所名	日高川町				
調査	測量		設計		製図
既存スコアボード撤去図 1/50 (A1)				図 面 番 号	05 A

電気設備工事特記仕様書

I 工 事 概 要

工事年度及び番号令和7年度社交金第2号-2

工 事 名 称南山スポーツ公園野球場周辺整備工事（スコアボード）

工 事 場 所日高郡日高川町和佐地内

延 勘 略 算

	建 物 名 称	主体構造	階 数	床面積 (㎡)
1	野球場			-
2				
3				
4				
5				

工 事 項 目（○をつけたものを適用する。）

工 事 種 別	1	2	3	4	5	屋 外	備 考
受電設備	-	-	-	-	-	-	
静止形電源設備	-	-	-	-	-	-	
自家発電設備	-	-	-	-	-	-	
送配線設備	-	-	-	-	-	-	
幹線設備	-	-	-	-	-	-	
動力設備	-	-	-	-	-	-	
電気系統設備	○	-	-	-	-	-	
照明器具設備	-	-	-	-	-	-	
換気扇設備	-	-	-	-	-	-	
テレビ共聴設備	-	-	-	-	-	-	
電話設備	-	-	-	-	-	-	
防災時計設備	-	-	-	-	-	-	
防音設備	-	-	-	-	-	-	
トイレ呼出設備	-	-	-	-	-	-	
火災報知設備	-	-	-	-	-	-	
ガス漏れ警報設備	-	-	-	-	-	-	
中央監視制御設備	-	-	-	-	-	-	
映像監視設備	-	-	-	-	-	-	
LAN通信設備	-	-	-	-	-	-	
非常用自家発電設備	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	

工 事 区 分（○をつけたものを適用する。）

項目	区 分					
	建築	電気	設備			
1機械、配管、配電庫の床、壁又は天井の点検口の製作、設置	-	-	-	-	-	-
2ダクト付属の換気ファン箱の設置	-	-	-	-	-	-
3一対換気扇の設置	-	-	-	-	-	-
4照明器具及びセンサーなどの天井開口部補修	-	-	-	-	-	-
5PCなど他の設備用箱体貫通又は平貫通部分の補修	-	-	-	-	-	-
6教育部分の貫通スリーブの設置及び補修	-	-	-	-	-	-
7機器架の基礎、架台の制作、設置	-	-	-	-	-	-
8防火扉の制作設置（自動閉鎖装置用切替機構）	-	-	-	-	-	-
9同上自動閉鎖装置、連動操作器、感知器の設置及び配管配線工事	-	-	-	-	-	-
10耐火シャッター及び防煙ダンパーの制作、設置及び自動閉鎖装置の制作、取付	-	-	-	-	-	-
11同上運動制御器、感知器の設置及び配管配線工事	-	-	-	-	-	-
12電動シャッター、自動ドアなどの制御装置及び二次配管、配線	-	-	-	-	-	-
13別途機器部材取組調整とその二次配管、配線	-	-	-	-	-	-
14別途機器部材取組調整後の電源供給	-	-	-	-	-	-
15機器架のフェンス設置	-	-	-	-	-	-
16機械の一次側配線の接続	-	○	-	-	-	-
17変電設備・異種配設法を含む配線工事	-	-	-	-	-	-
18変圧器の基礎工事	-	○	-	-	-	-
19各種架の架台の製作設置	-	-	-	-	-	-
20カンパイン設置工事	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-

II 工 事 仕 様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁官廳部監督「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)最新版」及び「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)最新版」と並びに国土交通省大臣官庁官庁官廳部監督「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)最新版」による。

(2) 建築工事、機械設備工事を本工事に含む場合は、建築工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書（改修工事仕様書）による。

2. 特記仕様

工 事 区 分（○をつけたものを適用する。）

項 目	特 記 事 項
○ 施工従事者	○ 法令に定める電気工事士（○ 第1種電気工事士 ・ 第2種電気工事士 ・ 特殊電気工事資格者）等とする。
○ 技術者の資格	○ 法令に定める消防設備士
○ 材料	○ 建設業法による資機要件を満たしたものとす。 ○ 使用機材標準カタログにあるほか、同等品以上とする。又一般材料については規格・品質が条件を満足する物については国内生産品の優先利用に努めること。

III 受変電設備

○ 施工範囲

○ 引渡し関係書類及び付属品

○ 電線本数管路等

○ 塗装

○ 科学物質を発生する設備材料

○ 侵入線

○ グレイド

○ 支給品

○ 発生材の処理

○ 部分的工引継

○ 部分使用

○ 施工計画書

○ 施工体制合

○ 官公署・その他への手続

○ 工事範囲

○ 電気方式

○ 配電盤形式

○ 機器仕様

○ 設備容量

○ 基礎

○ 有

○ 無

○ 引渡を要するものは

○ 無

○ 発生材の処理、処分当たっては関係法令を厳守し、請負者の責任において適正処理を行うこと。又工事箇工前に廃棄物処理計画書及び再生資源利用促進計画書を提出する事。工事完了時に再生資源利用促進実績書を提出すること。

指定処分先

○ コンクリート

○ プラスチック及び鉄かなる資材

○ 737J/kg+22kg/m³

○ 木材

○ 横内指示場所へ発均する。

○ 場外へ搬出し、適宜処理する。

指定処分先

○ 要

○ 不要

○ 産業廃棄物として事業者にて保管する。保管容器の制作、表示等は本工事とする。

○ 取外し再使用機器は、清掃、絶縁測定の上で取付ける。

○ 機器等の寸法は、掲載寸法を表わす。

○ 接地極は下記を標準とする。（接地極埋設設備含む。）

種 類	埋 設 径
・ A（□）	鋼板（90□×15□）鋼棒（14φ×1500）×2本
・ B	鋼板（60□×15□）
・ C	鋼棒（10φ×1500）×2本

○ 有（「工事請負契約書第38条によると。」）

○ 無

○ 有（「工事請負契約書第38条によると。」）

○ 無

○ 提出する

○ 提出しない

○ 提出する

○ 提出しない

○ 工事施工上、必要な諸語、手続は速やかに行い、その費用は全て請負者の負担とする。

○ 工事範囲

○ 電気方式

○ 配電盤形式

○ 機器仕様

○ 設備容量

○ 基礎

○ 有

○ 無

○ 引渡を要するものは

○ 無

○ 発生材の処理、処分当たっては関係法令を厳守し、請負者の責任において適正処理を行うこと。又工事箇工前に廃棄物処理計画書及び再生資源利用促進計画書を提出する事。工事完了時に再生資源利用促進実績書を提出すること。

指定処分先

○ コンクリート

○ プラスチック及び鉄かなる資材

○ 737J/kg+22kg/m³

○ 木材

○ 横内指示場所へ発均する。

○ 場外へ搬出し、適宜処理する。

指定処分先

○ 要

○ 不要

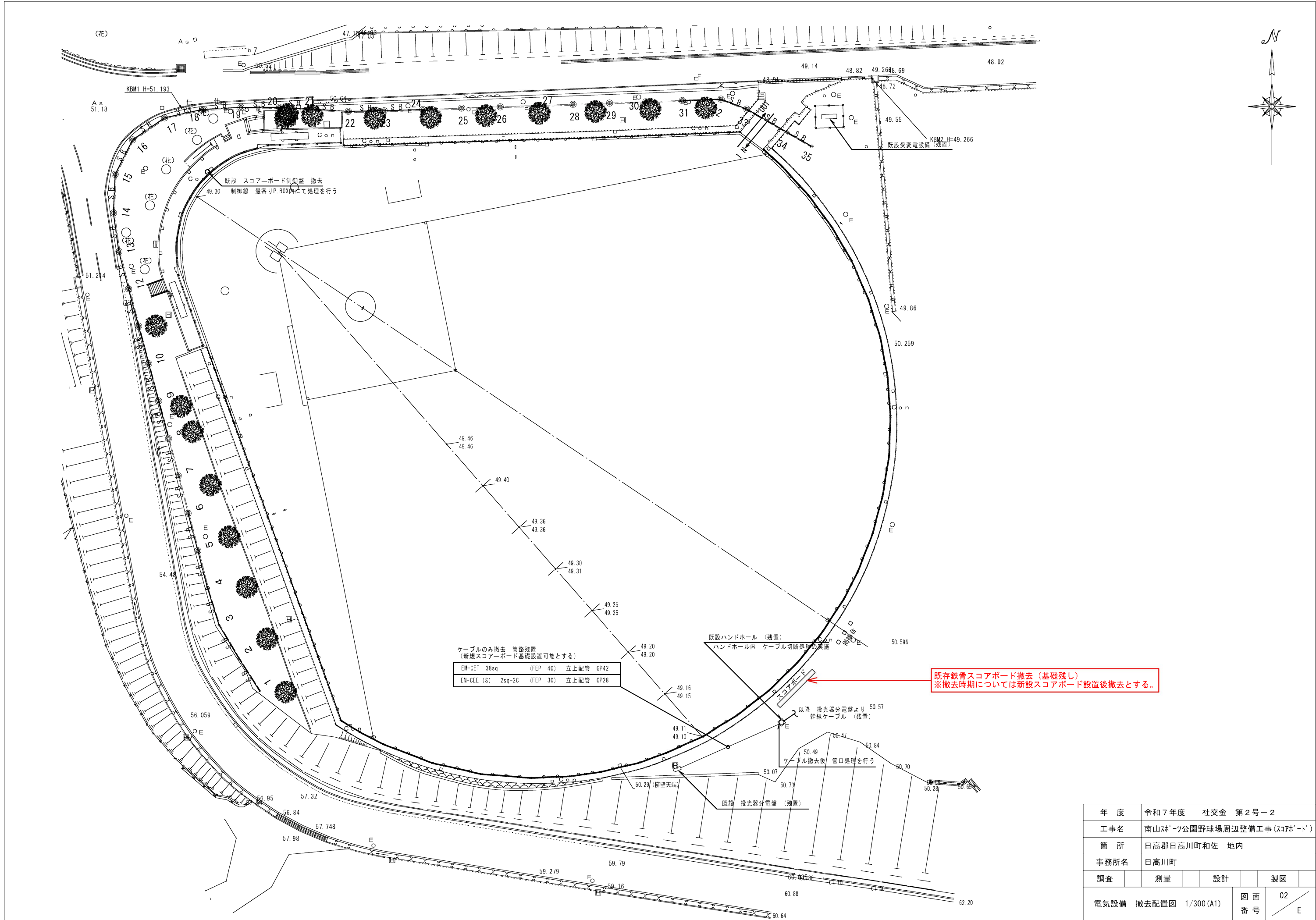
○ 産業廃棄物として事業者にて保管する。保管容器の制作、表示等は本工事とする。

○ 取外し再使用機器は、清掃、絶縁測定の上で取付ける。

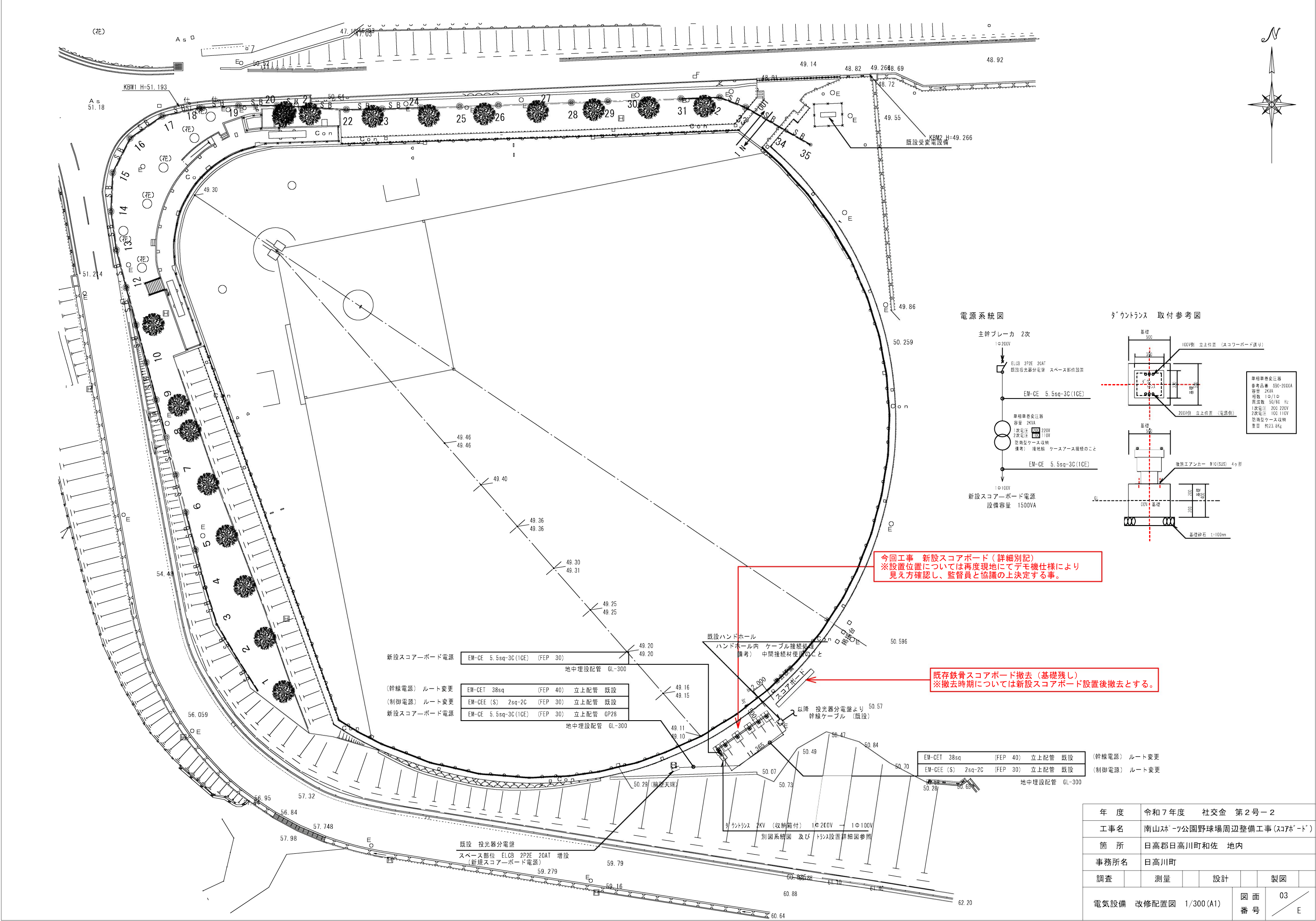
○ 機器等の寸法は、掲載寸法を表わす。

○ 接地極は下記を標準とする。（接地極埋

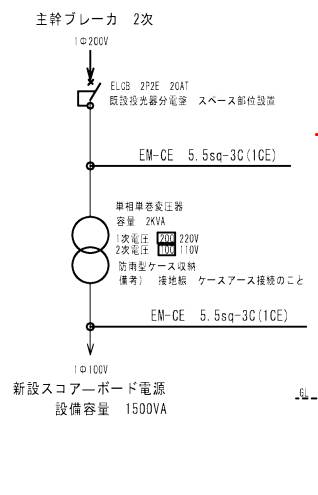
年 度	令和 7 年度 社会金 第 2 号－ 2						
工事名	南山ｽﾎｰﾂ公園野球場周辺整備工事(ｽﾎｰﾌﾞｰﾄﾞ)						
箇 所	日高郡日高川町和佐 地内						
事務所名	日高川町						
調査		測量		設計		製図	
電気設備 特記仕様書					図 面 番 号		01 / E



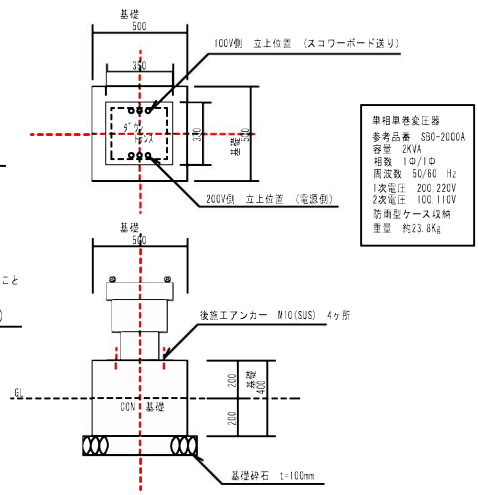
年 度	令和7年度 社交金 第2号ー2				
工事名	南山スポーツ公園野球場周辺整備工事(スコアボード)				
箇 所	日高郡日高川町和佐 地内				
事務所名	日高川町				
調査	測量	設計		製図	
電気設備 撤去配置図 1/300(A1)					図 面 番 号 02 E



電源系統図



タクトランス 取付参考図



今回工事 新設スコアボード（詳細別記）
※設置位置については再度現地にてデモ機仕様により
見え方確認し、監督員と協議の上決定する事。

既存鉄骨スコアボード撤去（基礎残し）
※撤去時期については新設スコアボード設置後撤去とする。

新設スコアボード電源	EM-CE 5.5sq-3C(1CE)	(FEP 30)
（幹線電源） ルート変更	EM-CET 38sq	(FEP 40) 立上配管 既設
（制御電源） ルート変更	EM-CEE (S) 2sq-2C	(FEP 30) 立上配管 既設
新設スコアボード電源	EM-CE 5.5sq-3C(1CE)	(FEP 30) 立上配管 GP28

EM-CET 38sq	(FEP 40)	立上配管 既設
EM-CEE (S) 2sq-2C	(FEP 30)	立上配管 既設

（幹線電源） ルート変更
（制御電源） ルート変更

年 度	令和7年度	社交金 第2号ー2
工事名	南山杯 ーツ公園野球場周辺整備工事(スコアード)	
箇 所	日高郡日高川町和佐 地内	
事務所名	日高川町	
調査	測量	設計
電気設備 改修配置図 1/300 (A1)		図 面 番号
		03
		E